

## 2 けたでわるわり算

基礎

かいとう

### 例題 商の見積もり

$72 \div 24$  を計算するとき、24 を「約 20」と考えて、  
 $72 \div 20 = 3$  あまり 12 と見積もります。

商を 3 と立てて、 $24 \times 3 = 72 \rightarrow 72 - 72 = 0$  答え：3

1 筆算で計算しましょう。

$$(1) 84 \div 21 = 4 \quad (2) 96 \div 32 = 3$$

$$(3) 78 \div 26 = 3 \quad (4) 65 \div 13 = 5$$

2 商を見積もりましょう。23 でわるとき、約何と考えますか。

約 (20)

ポイント：わる数を約 10 や約 20 と見て、商を予想しましょう。

## 2けたでわるわり算

標準

かいとう

1 筆算で計算しましょう。

$$(1) 92 \div 23 = 4 \quad (2) 85 \div 17 = 5$$

$$(3) 76 \div 19 = 4 \quad (4) 91 \div 13 = 7$$

2 3けた÷2けたの計算をしましょう。

$$(1) 156 \div 12 = 13 \quad (2) 168 \div 14 = 12$$

3 余りのあるわり算をして、確かめましょう。

$$(1) 95 \div 24 = 3 \text{ あまり } 23$$

$$\text{確かめ: } 24 \times 3 + 23 = 72 + 23 = 95$$

ポイント：確かめは「わる数 × 商 + あまり = わられる数」

## 2 けたでわるわり算

応用

かいとう

### 1 文章問題を解きましょう。

(1) 156 本のえんぴつを、12 人で同じ数ずつ分けます。

$$\text{式：} 156 \div 12 = 13 \quad \mathbf{13 \text{ 本}}$$

(2) 250 このあめを、24 人で同じ数ずつ分けます。

$$\text{式：} 250 \div 24 = 10 \text{ あまり } 10 \quad \mathbf{10 \text{ こずつで、} 10 \text{ こ余る}}$$

### 2 商が2けたになる計算をしましょう。

$$(1) 375 \div 15 = \mathbf{25} \quad (2) 576 \div 18 = \mathbf{32}$$

### 3 □に当てはまる数を求めましょう。

$$\square \div 25 = 4 \text{ あまり } 3 \quad \mathbf{103} \quad (25 \times 4 + 3 = 103)$$

ポイント：□を求めるには、わる数 × 商 + あまり を計算します。

## 2 けたでわるわり算

思考力

かいとう

### 1 たくやさんの計算を見てください。

92 ÷ 23 の計算で、23 を 20 と見て、 $92 \div 20 = 4$  と見積もりました。  
 $23 \times 4 = 92$  で、 $92 - 92 = 0$  答え：4

(1) たくやさんの見積もり方は正しいですか。 **正しい**

(2) もし見積もった商が大きすぎたら、どうしますか。

**商を 1 小さくして、もう一度計算する**

### 2 商が同じになる式を選びましょう。

**ア、イ、ウ（すべて商が 6）** ※エは  $54 \div 18 = 3$

### 3 28 でわると商が 5 で、あまりがいちばん大きくなる数を求めましょう。

$28 \times 5 + 27 = 140 + 27 =$  **167**

ポイント：あまりはわる数より小さいので、最大は 27 です。

## 2 けたでわるわり算

まとめ

かいとう

### 1 筆算で計算しましょう。(各 10 点)

$$(1) 72 \div 24 = 3 \quad (2) 91 \div 13 = 7$$

$$(3) 84 \div 21 = 4 \quad (4) 95 \div 19 = 5$$

### 2 3 けた $\div$ 2 けたを計算しましょう。(各 12 点)

$$(1) 168 \div 14 = 12 \quad (2) 252 \div 21 = 12$$

### 3 余りのある計算をして、確かめましょう。(14 点)

$$87 \div 25 = 3 \text{ あまり } 12 \quad \text{確かめ: } 25 \times 3 + 12 = 87$$

### 4 文章問題を解きましょう。(14 点)

$$\text{式: } 180 \div 15 = 12 \quad 12 \text{ こ}$$

## 【単元のポイント】

# 2けたでわるわり算の筆算

4年生 算数 第8単元

### 学習指導要領（平成29年告示）の目標

#### 【A 数と計算】A(3) 整数の除法

除数が2位数の場合の除法の計算が、基本的な計算を基にしてできること。また、その筆算の仕方について理解すること。

### ◆ 評価の3観点における目標

#### 【知識・技能】

- 2けたでわるわり算の筆算ができる
- 商の見積もりを立てて計算できる
- 余りの確かめができる

#### 【思考・判断・表現】

- 商を見積もる方法を説明できる
- わられる数が大きい場合も手順通り計算できる
- 計算の仕方を考え、説明できる

#### 【主体的に学習に取り組む態度】

- 既習の計算を使って考えようとしている
- 見積もりの大切さに気づいている

## ◆ 指導上の留意点

### 1. 商の見積もり

- 23 で割るとき、20 で見積もって商を立てる
- 商が大きすぎたら 1 小さく、小さすぎたら 1 大きく修正
- 「仮の商」と「本当の商」という考え方

### 2. 筆算の手順

- たてる → かける → ひく → おろす（1 けたの時と同じ）
- 余りがわる数より小さいことを確認
- 商が 2 けた以上になる場合の処理

### 3. つまづきやすいポイント

- 商の見積もりが難しい（23 で割るのに 30 で見積もるなど）
- 商が大きすぎて引けなくなる
- 商が小さすぎて余りがわる数より大きくなる
- 3 けた ÷ 2 けたで商の位置を間違える

## ◆ プリント作成時の配慮事項

1. 段階的な難易度：2 けた ÷ 2 けた → 3 けた ÷ 2 けた
2. 見積もりの練習：商を予想する問題
3. 確かめ算：余りの確かめを忘れずに
4. 文章題：「何人に分けられる？」など
5. 間違い探し：よくある間違いパターンを提示